

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12日

事業所名 olive

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6名	1名		子どもたちが自ら行動しやすいよう絵カードの提示やロッカーの配置を検討したり、スペースを間切りするなど工夫しています。	今後、職員へ情報共有を徹底し、周知・理解に努めていきます。
	2	職員の配置数は適切である	7名			定員児童10名に対して保育士・指導員2名以上配置しています。	適切配置人数を守っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4名		3名	・カラーテープを貼り付けての注意喚起や補助を行い、スムーズに使用できるようにしている。	・トイレの出入口に段差があり工夫が必要と感じている。今後は補助用具を検討しバリアフリー化を行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7名			・日々の振り返りや会議での意見が活発に出ている。・パート職員との連携を図る為、連絡ノートを活用し情報共有に努めている。	今後も意見を出し合い、業務改善に努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7名			・意見を受け止め、職員間で情報共有し改善に努めている。	今後も継続し、改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7名			・毎年、ホームページにて公表を行っています。	・ホームページの周知を図っています。 ・結果を踏まえ会議を持ち業務改善に努めています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4名		3名		・外部評価は実施していないが、結果を踏まえ会議を開き業務改善に努めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7名			・職員へ研修案内し参加する機会を設けている。	研修案内の周知・事前検討に繋げられるようにしていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7名			・個々の特性や状況を観察し、モニタリング等で課題を整理し作成している。	保護者からの聞き取りの上、児童発達支援管理責任者だけでなく、職員間で会議を開き色々な意見を基に検討し作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6名		1名	所内アセスメントツールを使用し、保護者、関係機関との情報共有に努めている	・年齢の幅が広く、特性も様々。ツールの活用と気づきの視点が必要。 所内のアセスメントシートを利用したり、保護者や医師からの診断書などで発達状況を把握し支援へつなげていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7名			放課後デイサービス計画を適宜確認し、個々にあった支援を行っています。	今後も継続し、必要に応じて見直しや改善に努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7名			職員会議でアイデアを出し合い、活動が偏らないよう工夫しています。	今後も継続して取り組めるように努めていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6名	1名		一人ひとりの発達状況を、職員間で確認しながら日々の取り組みとして設定している。コンディションによっては内容を見直し、変更を行っている。	今後、職員へ情報共有、周知・理解に努めていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7名			一人ひとりの発達状況を、職員間で話し合い、確認しながら放課後デイサービス計画を作成している。	今後も継続し、必要に応じて見直しや改善に努めていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6名	1名		・開始前には活動についての打ち合わせと役割分担、ホワイトボードへ当日のスケジュールの書き出しを行っている。	パート職員へ連絡ノートを活用し、周知・理解に努めます。 必要に応じて見直しや改善に努めていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6名	1名		活動の様子を記録しながら振り返り、共有している	偏りがないよう、複数の視点から支援について意見交換し、活動記録を職員間で共有していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7名			・動画や写真で活動の場面・状況を記録し検証・改善に努めている。	今後も継続し、必要に応じて見直しや改善に努めていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7名			・モニタリングを行い、6か月に一度見直しを実施している。	今後も継続し、必要に応じて見直しや改善に努めていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7名			自立支援・創作・余暇の提供を中心に組み合わせ支援しています。	今後も継続し、必要に応じて見直しや改善に努めていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7名			・管理者や児童発達支援管理責任者など適任者が参加しています。	今後も実施に努めます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7名			管理者を中心とし、日々の申し送りは職員も行えるよう児童の情報共有を適宜に行っている。	今後も保護者・学校・事業所間でこまめに連携を取り合いトラブルの際には迅速に出来るように努めていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2名	4名	1名	重症心身障がい児以外を受け入れる事業所として登録しています。	該当児なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7名			姉妹店舗oliveやまうちの移行支援あり。、情報の共有を行っています。	個々により、必要に応じて適宜情報共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4名	2名	1名	・保護者からの移行先確認後、担当者会議等にて情報を提供し、共有と相互理解を図るように努めています。	今後、職員へ情報共有を徹底し、周知・理解に努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6名		1名	・県や市の研修に参加し、助言を受け支援の改善につなげています。	デイでの困り感を委託相談員へ相談し行動観察、助言をいただいています。 今後、さらに職員への周知・理解を深めていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3名	1名	3名	児童館の利用や自治会の利用、個々での交流、地域の公園を利用し、同じ空間を共有しています。	現状として小学校と支援学校在籍児と一緒に過ごしています。保護者の要望や必要に応じて個別で設定していくことも検討し、職員への周知・理解を深めていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5名	2名		今年度は案内がない状況であった。	コロナ過の影響もあり、開催の有無が定かではないため、今後は情報収集に努め、必要に応じて参加出来るようにしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7名			日々の活動の状況や成長の様子を動画や写真で送ったり、送迎で伝えたりする事で共通理解ができるようにしています。	今後も保護者と密に関わりながら、共通の認識を持って支援を行っていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6名		1名	・町からの案内を個別に配布し、周知をけている。	家族支援として、ペアレント・トレーニング研修の案内等を行っているが参加率が低い。案内の仕方に工夫が必要。今後は個別で保護者の相談(事業所内・LINE・電話など)を行う中で、適宜案内するなど検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7名			・就学前には上限額の確認、説明を行っている。	契約時に保護者に分かりやすく、丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7名			・送迎での会話を大切にし、その際に得た内容を管理者へつなぎ、相談の機会を設けられるようにしている。	今後も、日々の送迎時での申し送りやLINEでの連絡をこまめに行う事で、保護者が話しやすい環境作りをしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6名	1名		・互いの親子関係を紹介しあう仲立ちをしている。	コロナが緩和したことで今年度より保護者会の開催を行っています。今後も保護者・子どもたちが参加しやすい内容を検討し、保護者間交流を深めていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7名			・保護者が不安にならないよう、相談があった場合は職員間でも話し合い、迅速に対応している。	日々の送迎時での申し送りやLINEでの連絡をこまめに行う事で、保護者が話しやすい環境作りをし、相談や申し入れについてが迅速に行えるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7名			・利用予定を確認する際に、個別に活動や行事の周知を図っている。	今後も保護者に対し毎月の予定表や日常的にLINEの活用などを行い、職員間での周知・理解を図っていきます。
	35	個人情報に十分注意している	7名			・書類はシュレッダーを使用し情報の流出防止に努めている。	個人情報に記載された書類は管理者の管理のもと厳重に保管をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7名			・外国人の保護者へ翻訳アプリを利用し意思の疎通が出来るよう努めている。	日々の活動の状況や成長の様子を動画や写真で送ったり、送迎で伝えたりする事で意思疎通ができるように配慮しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2名	1名	4名	・地域の保育実習生やインターシップを積極的に受け入れている。	毎年恒例のハロウィンなどで交流を図る等、興味・理解を頂ける地域の方との交流から努めていきます。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7名			毎月、避難訓練(地震・津波・火事・不審者)を取り入れ実施しています。	マニュアルについては整備・閲覧が出来るよう所内に設置し、職員・保護者に周知を図っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7名			毎月、避難訓練(地震・津波・火事・不審者)を取り入れ実施しています。	今後も実施に努めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7名			・適宜所内で研修を行っている。 ・資料を確認しながら、振り返り確認している。	今後も実施に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7名			・身体拘束の適正化運営基準の整備を進行している。	該当児はしたが、身体拘束の認識を再確認し周知を図っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5名	1名	1名	・対象となる食べ物を提供していない。	・保護者からの申告が多い為、保護者への再確認を行い職員間で共有し、安全面に充分気を付けていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7名			・所内でのヒヤリハット報告を記入し、店舗間で共有、事故防止に繋がっている。	あらゆる可能性を考慮し、事故防止につなげていくようにしていきます。